

## 着任のご挨拶

シンガポール日本商工会議所 理事  
NEC ASIA PACIFIC PTE LTD  
President & CEO  
稲葉 孝之



NEC Asia Pacificの稲葉でございます。この度、シンガポール日本商工会議所の理事として新たな役割を担うこととなり、身の引き締まる思いであります。日々変化するアジア経済の中心地であるシンガポールにおいて、商工会議所の一員として地域のビジネス発展に貢献する機会を頂き、大変光栄に感じております。

私は本年5月よりNEC Asia Pacificの代表として、シンガポールを拠点に地域全体の経営および事業運営の責任を担っております。NECはシンガポールにおいて、政府機関や民間企業をはじめ多くのお客様やパートナーと共に「安心」「安全」「効率」「公平」という社会価値を創造することを目指しております。こうした取り組みを通じて、誰もが人間性を十分に発揮できる持続可能な社会の実現に寄与することが、私たちNECの重要な使命であると考えています。

また、シンガポール拠点は地域統括会社としての機能を有しており、東南アジア各国の更なる発展にも積極的に貢献していきたいと考えております。地域の多様な市場や社会課題に向き合いながら、各国のパートナーや顧客と協力し、共に成長を目指す取り組みを推進しています。この使命に邁進する中で、シンガポール日本商工会議所の理事という立場からも、皆様と共に地域全体の発展に資する活動を行えることを大変嬉しく思います。

これまで、私はアジア各国での駐在経験を通して、多様なビジネス環境や文化に触れて参りました。2003年から2012年にかけてはマレーシアに駐在し、ASEAN経済圏の成長とともにビジネスの拡大に取り組みました。マレーシアでの経験を通じ現地スタッフやパートナー企業との協力の大切さを学び、その後のキャリアにおいても重要な礎となりました。

その後、2016年から2022年までインドに駐在し、現地法人の社長として経営責任を担う経験を得ました。インド市場はダイナミックで、多様なニーズと

ビジネス慣習に対応する中、柔軟な戦略の立案と実行が求められました。またコロナ禍では、社員の健康と安全を第一に考え、迅速な対応策を講じながら、業務の継続性を確保する難しい局面に立ち向かいました。この経験により、リーダーシップにおける柔軟性と決断力の重要性を改めて実感し、厳しい環境の中でもチーム全員が一丸となって困難を乗り越える姿勢が大切であると深く学びました。

そして、2022年から2024年までは中国・北京に駐在し、急速に進展するIT技術に驚くと共に、そうした先端的な環境下でビジネスを成長させる中で多くの学びを得ました。特に、デジタル化が日常に浸透している中国市場で、スピード感のある意思決定や柔軟なビジネスモデルの重要性を実感しました。急激に変化する市場環境での経験を通じて、ITがもたらす新たなビジネスチャンスをいかに迅速に取り入れ、成長に繋げていくかの洞察を得ることができました。

そして現在、シンガポールという国際的なビジネスハブに拠点を移し、これまでの経験を活かしてシンガポール日本商工会議所の発展に寄与できることを嬉しく思います。特に、IT部会にも携わることにより、シンガポールの先進的なテクノロジーの発展を支え、商工会議所のビジネスネットワークのさらなる強化に貢献して参ります。

これまで各国で出会った企業の方々とのご縁は今も続いており、財産になっています。シンガポールでも皆様との関係を大切に、アジア各地で培った知識と経験を基に、地域経済の発展や会員企業の皆様のビジネス支援に努めて参ります。また、シンガポール日本商工会議所の理事として、シンガポールのビジネスコミュニティと日本企業との架け橋となり、互いの発展に寄与できるよう尽力する所存です。

皆様と共にシンガポールのビジネス界を更に発展させ、持続可能な成長を実現するために尽力して参ります。今後とも何卒よろしくお願い致します。